

令和3年度

消防ポンプ自動車（CD-I型）
（三王ポンプ1号車）

仕 様 書

燕・弥彦総合事務組合

第1 総則

1 目的

この仕様書は、燕・弥彦総合事務組合（以下「事務組合」という。）において、令和3年度に購入する消防ポンプ自動車CD-I型（以下「本車両」という。）の一切に適用する。

2 概要

本車両は、3トン級消防専用シャシに消防ポンプ装置、小型水槽（約600リットル以上）、圧縮空気泡消火装置等、消火活動上必要な資機材を装備し、一般建物火災等の消火活動を迅速確実に行うことができる消防ポンプ自動車である。

3 適合法令等

本車両の制作は、仕様書及び承認書によるほか、次に掲げる法令等に適合し、緊急自動車として承認を得られるものとする。

また、消防車両の安全基準検討委員会が定める「消防用車両の安全基準について」に適合し、製造工場については品質管理システム（ISO認証取得）を構築していること。

- (1) 動力消防ポンプの技術上の規格を定める省令（昭和61年自治省令第24号）
- (2) 道路運送車両法（昭和26年法律第185号）
- (3) 道路運送車両の保安基準（昭和26年運輸省令第67号）
- (4) 道路交通法（昭和35年法律第105号）
- (5) 消防用車両の安全基準について（平成19年3月 日本消防検定協会）
- (6) その他関係法令等

4 製作上の問題処理

- (1) 仕様内容に疑義が生じた場合は、事務組合に速やかに連絡し、承認又は指示を受けること。
- (2) 仕様変更は、事前に契約担当課及び事務組合担当者との打合せのうえ、変更承認図を提出し承認を受けること。
- (3) 本車両製作にあたり、工業所有権その他の法令に抵触する問題が生じたときは、受注者においてこれらの問題を解決すること。

5 製作上の注意

消防車両として最適の構造及び性能を十分に有し、次のとおりとすること。

- (1) 車両全般にわたり防水措置、防錆措置及び防食措置を十分に行うこと。特に下廻りの部材の継ぎ目は、すべてシーリングを施すこと。
- (2) 清掃・点検・調整及び修理が容易に行える構造とすること。
- (3) 使用取扱い上の安全性・操作性を十分に考慮したものであること。
- (4) 全体的に重量軽減を図り、前後左右の荷重バランスを十分に考慮すること。

- (5) 堅ろうにして長期の使用に十分耐え得るものであり、かつ、維持管理が経済的に行えるものであること。
- (6) 水洗い整備ができるとともに、残水等の生じない構造とすること。また、フェンダー等で器具接触等により塗装剥離のおそれのある部分には、適切な保護対策を講じること。
- (7) シヤシ等は、すべて新規製品を使用すること。
- (8) 法令点検整備が容易に行える構造とすること。

6 規格及び表示

本車両に使用する材料及び部品は、特に指定するものを除き、すべて日本産業規格（J I S）のものを使用すること。ただし、ネジ類については、I S Oネジ又はこれに準じたものを使用すること。

また、本車両に使用する単位等の表示は、すべてS I単位で表示すること。

7 登録の費用

本車両の新規登録に関する一切の経費については、受注者の負担とする。ただし、本車両にかかる自動車損害賠償責任保険・自動車重量税及び自動車リサイクル法にかかわる経費は事務組合が負担する。

8 登録の代行

本車両製作完了後、受注者は新規登録のための手続きを代行し、北陸信越運輸局新潟陸運支局長の行う当該検査に合格させること。

9 保証期間

本車両の保証期間は納車後2年間とし、保証書を提出すること。ただし、保証期間経過後といえども、設計・製作・材料等の不良に起因する不具合の発生については、受注者において無償で修復又は取替え等を行うこと。

なお、故障等が生じた場合の修理等については、速やかに対応すること。

10 事故防止

受注者は艀装及び車両の移動にあたっては、事故防止に万全の注意を払い、万一事故が発生した場合は、速やかに事務組合に連絡するとともに、その事故等について一切の責任を負うこと。

11 検査

- (1) 受注者は、事務組合が行う検査を受けること。
- (2) 事務組合が適当と判断する時期に受注者製作工場で艀装の中間検査を行うこと。
ただし、経費については、事務組合が負担するものとする。（別途協議）
- (3) 車両完成時には、各検査を行うものとし、検査時の写真及び「計量証明書」「転覆角度実測証明書（車両安定傾斜角度測定表）」を車両納入時に提出すること。

- ア 完成車重量測定検査
 - イ 完成車転覆角度検査
- (4) 納車検査は、新規登録後に行うものとし、車両・取付品・積載品・附属品すべてを一括して行い、検査の結果、不備事項又は不合格がある場合は、事務組合が指示する日までに改修又は取替えを行い、再度検査を受けるものとする。
- (5) その他必要に応じ検査を行うものとする。

第2 提出書類

1 提出書類

- (1) 「入札参加申込書」提出時に、次の書類を提出すること。
品質管理システム（ISO認証取得）構築の書類（写し）
- (2) 製作承認図書類・完成図書及び取扱説明書は、A4判のファイルに一括して綴じること。
（写真は除くこと）
- (3) 図面は、すべてA3判とすること。
- (4) 外国製品の書類等については、すべて日本語に翻訳すること。また、各単位にはSI単位を併記すること。
- (5) 外注先一覧表・・・1部
製作を外注する場合は、次の内容の外注先一覧表を事務組合に提出すること。
- ア 会社名
 - イ 所在地
 - ウ 電話番号
 - エ 外注内容（品目及び作業内容等）

2 着手届・・・1部

承認図書の審査を受けた後、着手届を提出し、着工するものとする。

3 全体工程表・・・2部

契約後1ヶ月以内にシャシの製作を含めた全体の工程表を事務組合に提出すること。

4 進捗状況の報告

工程ごとの進捗状況を示す書類、写真を1部提出すること。

5 製作承認図書類・・・3部（返却分1部含む）

受注者は、艀装開始前に仕様書に基づく次の書類を提出し、事務組合の承認を受けること。

- (1) 艀装工程表（外注先の作業工程を含む）
- (2) 製作承認図

- ア 艀装外観5面図
- イ シャシ2面図
- ウ ホース収納位置図（積載可能本数明示）及び資機材等収納部詳細図並びに各種取付装置等詳細図（3面図）
- エ 車体骨組図
- オ 水槽関係図
- カ ポンプ関係図
- キ 真空ポンプ関係図
- ク 圧縮空気泡消火装置の関係図及び諸元表
- ケ 配管図及び配管系統図
- コ 電気配線図（種類、電球、リレー・ヒューズ・アンペア数等を明示したもの）
- サ キャブ改造図（空気呼吸器固定装置を含む）
- シ 諸元明細図
- ス その他、事務組合が指示するもの。

6 完成図書

(1) 納入時に次の書類（A4判に製本）を2部提出すること。

- ア 日本消防検定協会が行う消防ポンプ自動車用機関の試験結果（写し）
- イ シャシの図面
- ウ 動力伝達装置（P. T. O）の図面
- エ エンジンオイル冷却装置の図面
- オ シャシの改造関係（キャブ取付品その他）の図面
- カ シャシ艀装資料
- キ シャシの諸元明細書又は詳細な仕様書
- ク シャシカタログ
- ケ シャシ使用電球型式一覧表（型式・ワット数明示、増設部含む）
- コ シャシ使用ヒューズ型式一覧表（型式・アンペア数明示、増設部含む）
- サ シャシ電気配線図（増設部）
- シ オイルパンヒーターの図面及び諸元表
- ス 艀装外観5面図
- セ 完成車の最小回転半径の走行軌跡図
- ソ 使用材料一覧表
- タ 車体骨組図
- チ 水槽関係図
- ツ 配管図及び配管系統図
- テ ポンプ関係図及び諸元表
- ト 真空ポンプ関係図及び諸元表
- ナ 圧縮空気泡消火装置の関係図及び諸元表
- ニ 各電装品の配線施工図（メンテナンスを考慮したもので、リレー・ヒューズ・リミッ

トスイッチ・安定器等の設置位置を具体的に示したもの)

- ヌ ホース収納位置図（積載可能本数明示）及び資機材等収納部詳細図並びに各種取付装置詳細図（3面図）
- ネ 装備品等一覧表（品名、数量、製作会社名、型式等）
- ノ 装備品等のカタログ又は写し（諸元明示）
- ハ 装備品等の使用油脂類一覧表（整備上必要なもの）
- ヒ 使用電球型式等一覧表
- フ 使用ブレーカー（ヒューズ）型式一覧表
- ヘ 消防ポンプ装置の性能試験結果
- ホ 日本消防検定協会による消防ポンプ装置の消防受託試験合格及び安全基準適合プレート（写し）
- マ 日本消防検定協会による品質評価の表示
- ミ 改造自動車等審査届出書（写し）
- ム 計量証明書（写し）
- メ 転覆角度実測証明書（写し）
- モ 自動車検査証（写し）
- ヤ その他、事務組合が指示するもの。

(2) 取扱説明書・・・2部

- ア シヤシ取扱説明書（シヤシ取付品含む）
- イ 消防ポンプ装置取扱説明書（整備解説書含む）
- ウ 圧縮空気泡消火装置取扱説明書（整備解説書含む）
- エ 資機材及び取付品等の取扱説明書（整備解説書含む）

7 写真（写真及び写真を保存したメディア）

次に掲げる写真（A4判ファイルに製本）を各4部提出すること。

また、カラーL判写真及び写真を保存したメディアを提出すること。

- (1) 製作工程に基づく工程写真（シヤシから完成車両までの状況）
- (2) 工程ごとの塗装状況が確認できるもの。
- (3) 完成車両（新規登録後でナンバー付）上部前後左右の正面及び斜めから撮影したもの。
- (4) 資機材収納部の状況
- (5) 緊急自動車事前届出用（上部前後左右の正面から撮影、新規登録前のもの）
- (6) 緊急自動車届出用（上部前後左右の正面から撮影、新規登録前のもの）
- (7) その他、事務組合が指示するもの。

8 無償点検整備

納車後3ヶ月の法定定期点検整備は、受注者が無償で行うこと。

9 取扱い説明

納入者は事務組合が指示するとおり、本車両及び艀装装備品等の取扱いについて専門係員

を派遣し、小隊ごとに取扱い説明を行うこと。

また、取扱い説明用の動画を作成し提出すること。(別途協議)

10 その他

道路交通法施行令第13条の規定に基づく緊急自動車の届出事務処理上必要なものとして、当該車両の車両型式・車体番号が記載されている書類及び前記「7(5)」の写真を新規登録日の10日前までに事務組合に提出すること。

なお、緊急自動車の届出は受注者が行い、納入前までに燕警察署へ届出るものとする。

第3 仕様

1 材質の規格

(1) 材料及び部品は、すべて新規製品を使用すること。

(2) 主要材料の材質は、次のとおりとすること。

ア 骨組等主要構造は、一般構造用圧延鋼材(S S 4 0 0)以上の強度を有する材料を使用すること。

イ ポンプ主要部品は、青銅鋳物(B C 6)以上で耐久性に富んだ材料を使用すること。

ウ ポンプシャフトは、ステンレス鋼(S U S 4 0 3)以上の強度を有する材料を使用すること。

エ 主配管は、配管用炭素鋼鋼管又は同等以上の強度及び耐久性を有するものとする。

オ 放水口等のボールコックは、青銅鋳物(B C 6)以上で耐久性に富んだ材料を使用すること。

カ 泡消火薬剤の配管及び附属部品は、耐久性及び強度を有すること。

(3) ステップ等は、アルミ縞鋼板を使用すること。

(4) 保護枠・計器盤・蝶番・手摺り・握り棒等その他金属露出部分及び外部に取付けるボルト・ナット類はステンレス製部材を使用すること。

(5) シーリング材は、弾力性があり経年劣化により硬化しにくいものを使用すること。

(6) 潤滑油及び各種作動油は、各メーカーが指定するものを使用し、規定量を入れておくこと。

(7) 電池及び電池パックを使用するものは、各メーカーが指定するものを使用し、必要数を入れておくこと。

(8) その他の材料は、次によること。

ア プラスチック類は、すべて難燃性及び耐油性、更に耐候性及び耐寒性に優れたものを使用すること。

イ ゴム製品は、すべて耐油性及び劣化性、更に耐熱性及び耐寒性に優れた合成ゴムを使用するとともに、交換が容易な取付け方法とすること。

2 主要諸元

本車両は、下記のシャシに高圧二段バランスタービンポンプ又は1段ポリユートポンプ

と600リットル以上の小型水槽を装備し、河川・消火栓等の水利から強力な放水をなし、一般火災等に対し速やかに活動できるものとする。

- | | |
|----------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| (1) 型式 | キャブオーバーダブルキャブ型（消防専用シャシ） |
| (2) エンジン | 水冷4サイクル ディーゼルエンジン |
| (3) 排気量 | 4,000cc以上 |
| (4) エンジン出力 | 150PS以上 |
| (5) 軸数 | 2軸 |
| (6) 駆動方式 | 4輪駆動 |
| (7) 変速装置 | マニュアルトランスミッション（MT） |
| (8) ホイールベース | 2,750mm以上2,800mm以下 |
| (9) 車両寸法 | 全長：5,800mm以下
全幅：2,000mm以下
全高：3,200mm以下 |
| (10) 車両総重量 | 7,000kg未満（別表の積載品重量を含む） |
| (11) 操縦補助装置 | パワーステアリング装置 |
| (12) 乗員人員 | 5名（前席2名、後席3名） |
| (13) オイルパンヒーター | キャップ、15m専用コード |
| (14) キャブチルト | 電動油圧式（緊急時に手動操作可能なもの） |
| (15) 燃料タンク | 60リットル以上 |
| (16) 動力伝達装置 | フルパワーP.T.O |
| (17) その他 | ア オルタネーター出力（24V－80A以上）
イ エアコン（純正品）リアヒーター（別途協議）
ウ VSC（車両安定制御システム）装置
エ EBD（電子制動力分配制御）機能付ABS（アンチロックブレーキシステム）装置
オ TRC（トラクションコントロール）装置
カ 坂道発進補助装置
キ 前照灯（LED）
ク フォグランプ（LED）
ケ パワーウィンドウ（全ドア）
コ 集中ドアロック（全ドア）
サ 室内灯（LED式）
シ バックアイカメラ
ス ドライブレコーダー（タッチパネル式）
セ シート防汚カバー（全席）
ソ 泥除けゴム（全輪）
タ キーレスエントリー（3個）
チ ステンレスナンバー枠（前・後）
ツ サイドバイザー（全ドア） |

- テ サンバイザー（運転席、助手席）
- ト フロアマット（前席、後席）
- ナ フロントバンパー上面アルミ縞鋼板張り（別途協議）
- ニ その他メーカー標準装備品
- ヌ その他（別途協議）

3 シャシの規格

- (1) 令和3年度に製作されたものを使用すること。
- (2) 日本消防検定協会の検定（消防受託試験）に合格したものとすること。
- (3) ダブルキャブ3トンの消防専用シャシとすること。
- (4) 平成28年排出ガス規制（2016年規制）に適合した3ヶ月以内に製造されたものとする。
- (5) この仕様書において指定した装備品以外のものについては、消防専用シャシとしてメーカーが公認している標準品が装備されていること。

4 キャブの構造

(1) キャブ外装関係

- ア 構造は、エンジンの点検等を容易にするため、電動キャブチルト装置付とし、落下防止用の支え棒等を取付けること。
- イ 鋼板及び軽量かつ十分な強度を有し、耐熱性・耐候性に優れたFRP素材を複合したキャブオーバーダブルキャブ型とすること。
- ウ 天井部は、ハイルーフとし、居住性及び機能性に優れた構造とすること。
- エ ハイルーフは、低重心化を図るため、軽量で強度のある炭素繊維強化プラスチック（CFRP）と金属を組み合わせた炭素繊維複合材料又はガラス繊維強化プラスチック（FRP）等を使用すること。
- オ 赤色警光灯は、キャブと一体型とし、省電力で球切れの少ないLED灯を内蔵すること。
また、スピーカー50Wは、キャブ内の静粛性を保つためにアクティブ制御方式とし、モーターサイレンをキャブ前方中央部にキャブ一体型（防雪カバー付）として収納すること。（キャビンとセパレート型は不可とする。）
- カ キャブルーフ左右側面に埋込式の標識灯を取付けること。
また、キャブルーフ左右側面の標識灯上部に作業灯を取付けること。
- キ フロントグリルは、メッキ仕様とすること。
- ク 消防章をフロント部に黒色の台座を設けて取付けること。
- ケ フロントガラス上部左右対称の位置に手摺りを取付けること。
- コ フロントバンパー上部は、3.0mm厚のアルミ縞鋼板張りとすること。（別途協議）
- サ 乗降用の手摺りを両側面に取付けること。
- シ 左右サイドミラーにくもり止めヒーターを取付けること。
- ス 左側サイドミラー付近に助手席用補助サイドミラーを取付けること。

- セ 各ドアの昇降口フェンダーに外板損傷防止用アルミ製保護板を取付けること。
- ソ バッテリー収納位置は右側面後部ドア下部とし、シャシフレームより補強したレール付引出し装置を取付けること。
また、バッテリーはスライド式で容易に点検ができ、固定及び解除できるロック装置を取付け、乗降の支障とならないようにすること。
- タ 運転席側にオイルパンヒーター用メタルコンセント（キャップ付）を取付けること。
なお、ヒーターはAC100Vを電源とし、配線及び結線部は露出のないようにするとともに、漏電及び防水対策を十分に施すこと。（バッテリー充電器兼用とし、マグネット式とする。）（別途協議）
- チ エンジンオイルレベルゲージは、キャブチルトしなくても点検ができること。
- ツ 牽引フックを前部フロントバンパー内に取り付けること。

(2) キャブ室内関係

- ア バックミラーを改良し車両後方を常時監視できるモニターを取付けること。
（8インチモニター）（別途協議）
- イ エアコンは、車両メーカーの純正品とすること。
- ウ 全席にシート防汚カバーを取付けること。（別途協議）
- エ 助手席シートは、空気呼吸器及び面体が収納できるように埋込型シートとし、背当てにキャビティカバーを設けること。（別途協議）
- オ 運転席と助手席の間に収納ボックスを取付けること。（別途協議）
- カ 中央上部に小物入れ用の収納棚を取付けること。
また、棚の手前側には収納物の飛び出し防止の措置を講じること。
- キ 中央上部収納棚下部に携帯用拡声器1個を固定できる装置を取付けること。
（別途協議）
- ク 後部座席前方に後部座席隊員用のステンレス製手摺りを取付けること。
なお、S字環フック（ビニールコーティング付）を8個取付け、走行中の振動等により金属音を発しないようにすること。（別途協議）
- ケ 後部座席前方の手摺り中央付近に展開式のテーブル兼用地図収納ボックス（A3サイズ）を取付けること。
- コ 後部座席上部の張出し部分に小物入れ用収納網を取付けること。
- サ 後部座席用にリアヒーターを設置すること。（別途協議）
- シ 後部座席下部には、可能な限り収納スペースを設けること。（別途協議）
- ス 後部座席後方に空気呼吸器固定装置を3基取付け、その付近に背当てとしてクッションを設けること。
また、着座した状態でも容易に脱着できるレバーを座席右側に取り付けること。
加えて、空気呼吸器固定装置付近に面体掛用フック3箇所取付けること。（別途協議）
- セ 空気呼吸器固定装置上部に小物入れ用の収納棚を取付けること。
また、棚の手前側には収納物の飛び出し防止の措置を講じること。
- ソ 空気呼吸器固定装置上部収納棚下部にステンレス製手摺りを取付けること。
なお、S字環フック（ビニールコーティング付）を8個取付け、走行中の振動等に

より金属音を発しないようにすること。(別途協議)

5 車体の構造

(1) 車体全般

- ア 艤装は、総合的な重量軽減を図り、車両重量のバランスを考慮して製作すること。
- イ 車体の重要な点検箇所及び主要な部分の点検整備に関して、工具類を使用するためのスペースを確保するとともに、必要箇所には点検口又は点検扉を設けること。
- ウ 側板は、一般構造用圧延鋼材(S S 4 0 0)を使用し、周囲を外側に折り曲げ加工し、各ステップは、アルミ縞鋼板にて端部周辺を折り曲げ加工及び滑り止め加工した構造とすること。
- エ 形状は箱型とし、左右側面(前・後)、後面それぞれ1枚の手動式アルミシャッターとし、開閉は、ワンタッチでスムーズに行えること。
また、後輪左右フェンダー部分に各1枚のステップ兼用扉を設け、容易に固定及び解除できるロック装置を取付けること。
- オ 手動式アルミシャッターは、それぞれ開放時に確認できる警告灯を取付けること。
(別途協議)
- カ ポンプ室は、密閉式とし、清掃・点検・調整及び修理が容易に行える構造とすること。
- キ 燃料タンクは、シャシ固有の位置に取付けること。
- ク 給油口には、燃料の種類と容量を記入すること。
- ケ 各操作部(ハンドル・レバー・スイッチ等)には、名称及び操作方法を明記すること。
- コ 左右側面(前・後)シャッター内及び後面シャッター内は、積載資機材の固定並びに脱着が容易な固定装置(固定金具、ワンタッチベルト等)を設けること。(別途協議)
- サ ドライブレコーダーを適切な位置に取付けること。
- シ 全輪にゴム製の泥除けカバーを取付けること。
- ス 車輪止めは、前面右側のドア下ステップ付近(キャブとの隙間部分)に収納し、かつ固定及び脱着が容易な固定装置を設けること。

(2) 車体上部

- ア 雨水が滞留及び車体内部へ浸水しない構造のアルミ縞鋼板張りとすること。
- イ 両側に立ち上げパネルを設けること。
- ウ 右側には、資機材を収納するためのアルミ縞鋼板製ボックスを設けること。
- エ 吸管を取付けること。(別途協議)

(3) 車体側面

ア 側面全般

- (ア) 左右側面前方シャッター内に吸水口・放水口・中継口を設けること。
- (イ) 左右側面前方シャッター内の操作しやすい位置に冷却水バルブ・冷却水グラス等の装置を設けること。
- (ウ) 左右側面前方シャッター内にスパナ等の固定装置を取付けること。

- (エ) 左右側面前方シャッター内上部に防火服等を掛けるためのステンレスパイプ及びS字環フックを取付けること。(別途協議)
- (オ) 左右フェンダーは、展開式とし、フェンダー内側にアルミ縞鋼板を張付け、ステップとして兼用できる構造とし、容易に固定及び解除できるロック装置を取付けること。
- (カ) 左右側面前方部に車体上部への昇降が行いやすいようにステップを設けること。
なお、ステップは折畳みができる構造とすること。
- イ 右側面
 - (ア) 前方下部にステップ兼用扉を設け、容易に固定及び解除できるロック装置を取付けること。
 - (イ) 後方シャッター内に吸管と各種消火栓開閉器具等を収納すること。
- ウ 左側面
 - (ア) 前方下部にステップ兼用扉付き収納ボックスを設け、容易に固定及び解除できるロック装置を取付けること。
 - (イ) 後方シャッター内は、ホース等資機材収納スペースとすること。(別途協議)
- (4) 後面
 - ア 右側に昇降用の折り畳み式アルミ合金製梯子を取付けること。使用時以外は留具に収まる構造とし、走行中の衝撃に十分耐えられるように取付けること。
また、梯子横さんの踏み面に、滑り止め加工を施すこと。
 - イ シャッター内は、加納式ホースカーと資機材収納スペースとすること。
 - ウ チェーンソー及びエンジンカッターをシャッター内の取出しに容易な場所を取付けること。(別途協議)
 - エ 予備ボンベをシャッター内の取出しに容易な場所を取付けること。
また、予備ボンベの飛び出し防止の措置を講じること。(別途協議)
 - オ バックアイカメラを取付け、上部に保護カバーを設けること。
 - カ テールランプは、視認性の高いLED式とすること。
 - キ オーバーハングや坂道等で最後部下部が擦れない構造とすること。

6 電装品

- (1) キャブブルーフは、FRP製で赤色警光灯一体型(スピーカー内蔵)とすること。
- (2) キャブブルーフ上には、ルーフ埋込型LED式赤色警光灯を取付けること。
- (3) LED式赤色点滅灯
 - ア フロント前照灯上部左右対称の位置に各1個取付けること。
 - イ フロントバンパー左右側面对称の位置に各1個取付けること。(別途協議)
 - ウ 車体上部立ち上げパネル左右側面对称の位置に各2個取付けること。
 - エ 車体後面上部左右対称の位置に各1個取付けること。
- (4) キャブブルーフ左右側面对称の位置に埋込式の標識灯を各1個取付けること。
- (5) 作業灯
 - ア キャブブルーフ左右側面標識灯上部に各1個取付けること。

- イ 車体上部立ち上げパネル左右側対称の位置に各 2 個取付けること。
- ウ 車体後面上部左右対称の位置に各 1 個取付けること。
- (6) キャブ内を有効に照明できる LED 式室内灯(天井埋込型)を設け、ドアスイッチと切替スイッチの両用で使用できる構造とすること。また、助手席天井部に 1 箇所、後部座席天井部に 3 箇所の LED 式マップランプを取付けること。
- (7) 車体上部前方右側に伸縮式の照明装置を 1 個取付けること。手動により展開及び収納ができ、かつ伸縮柱を上昇下降させ、照明を上下左右に動かすことができること。
(別途協議)
- (8) 各シャッター室内上部及びポンプ室上部にシャッターの開閉と連動して点灯する LED 式照明灯を取付けること。
- (9) 両側後輪付近の適当な位置に保護枠付き LED 式路肩灯を取付けること。
なお、点灯はシャシスモールランプと連動すること。
- (10) 車体左側面前方下部ボックス内にボックスドア開閉と連動して点灯する LED 式照明灯を設けること。
- (11) 電装品のスイッチは、十連スイッチとし、オーバーヘッドコンソール内に取付けること。(別途協議)
- (12) 各装置のヒューズはダッシュボックス付近に専用のボックスを設け、ヒューズごとに銘板を取付けること。
- (13) 電子サイレン
 - ア サイレン装置は、機能集中型操作スイッチを取付けること。
 - イ 取付け位置は、キャブ内オーバーヘッドコンソール内の適当な位置に取付けること。
(別途協議)
 - ウ アンプは、50W 以上で電子サイレン・電子警鐘・拡声機能及び音声合成機能を有するものとする。
 - エ スピーカーは、FRP 製赤色警光灯一体型に内蔵する専用スピーカーとすること。
- (14) 電動モーターサイレン
 - ア モーターサイレンは、FRP 製赤色警光灯一体型に内蔵すること。
 - イ スイッチは、十連スイッチ内に設けること。
- (15) 確認灯
 - ホースカー電動昇降装置の固定解除を示す確認灯を十連スイッチ内に設けること。
- (16) フレキシブルマイク
 - 運転席右側上部に取付け、直近にスイッチを設けること。
- (17) 後退警報器
 - ON・OFF 切替スイッチを設け、音声式とすること。

7 ホースカー及び電動昇降装置

- (1) ホースカーは、車輪が折り畳める加納式とし、65mm 消防用ホースが 10 本以上収納できること。

- また、分岐金具・媒介金具・無反動管さうの取付け装置を設けること。(別途協議)
- (2) ホースカーに65mm消防用ホースを10本以上積載した状態で昇降できる電動昇降装置を後面シャッター内に取付けること。
 - (3) 万が一、電動昇降装置が作動しなかった場合は、手動での昇降操作ができること。
 - (4) 操作スイッチは、後面の適当な位置に取付けること。
 - (5) ホースカーは、停車時に自走しないようにブレーキ装置を設けること。

8 手動式梯子昇降装置

- (1) 車体上部左側にチタン製三連梯子を積載するための手動式梯子昇降装置を取付けること。
- (2) 梯子昇降装置は、キャブチルトと連動し、三連梯子がキャブ屋根上に張り出しているときは、電動キャブチルト操作が行えない安全装置を取付けること。
- (3) 梯子昇降装置には、三連梯子を積載し容易に取出しできるよう展開式とすること。
- (4) 梯子固定装置は、二重構造の安全かつ確実なもので、容易に固定・解除ができる構造とすること。
- (5) 梯子固定装置には、梯子横ずれ防止用のサイドガード等を取付けること。
- (6) 梯子昇降装置基台側面には、とび口を2本取付けられる装置を設けること。

9 無線電話装置

- (1) 無線電話装置本体をオーバーヘッドコンソール内に取付けること。(無線電話装置本体は、現車両の装備品を載せ換え、取付けるものとする。配線は新品とすること。)
(別途協議)
- (2) センターコンソール部の適当な位置にAVM装置を取付けること。(AVM装置は、現車両の装備品を載せ換え、取付けるものとする。配線は新品とすること。)
- (3) 車体前方左右シャッター内の操作が容易な位置に無線送受信器取付けスペースを設け、キャブ内無線機との間に配線ケーブルを取付けておくこと。(アンテナ・AVM外部設定器制御ケーブル・車外通話装置は新品とすること。)
- (4) キャブ上面の必要な箇所に無線、AVMに必要なアンテナ入線孔を必要数設けること。
- (5) 水槽付消防ポンプ自動車(名称：弥彦タンク1号車)「新潟88や2764」の無線電話装置を外し、水槽付消防ポンプ自動車(名称：三王タンク1号車)「新潟800は367」に移設すること。(別途協議)

10 電気装置

- (1) バッテリーは、JIS規格130E41R以上のものを2個とすること。
また、バッテリー引出装置から引き出した状態においても支障のないようコード類は十分余裕をもたせること。
- (2) オルタネーターは、24V-80A以上の中低速回転タイプとすること。
- (3) 電気装置は、直流24Vのマイナスアース式とすること。

11 水ポンプ装置

(1) ポンプ

ア 高圧二段バランスタービンポンプ又は1段ボリュートポンプ

イ ポンプ性能 A-2級

・規格放水性能 送水圧力0.85MPaにおいて放水量2,000L/min以上

・高圧放水性能 送水圧力1.40MPaにおいて放水量1,400L/min以上

(2) 水ポンプは、シャシエンジンのP.T.Oにより駆動され、P.T.Oの操作は、運転席及び車体左右のポンプ操作装置に設けられたスイッチにより行うものとする。

(3) P.T.Oは、シフトレバーが「N (ニュートラル)」レンジで駐車ブレーキが作用している状態でのみ接続可能とすること。

(4) 材質は、各装置による重量増を解消するため本体をアルミ製とすること。

ただし、インペラーについては砂利等の混入にも対応できるよう強度・腐食性を考慮し青銅鑄物とすること。

(5) グランド部は、不凍液等を必要としない完全メンテナンスフリーのメカニカルシールとすること。

12 真空形成装置

(1) 資機材収納スペースの確保及び軽量化、故障リスクを少なくするため、圧縮空気泡消火装置のコンプレッサーから吐出される空気を利用して真空状態を形成するエゼクター方式真空形成装置とすること。

(2) 操作は、押ボタン式スイッチによるものとし、駆動装置は円滑に作動し、揚水完了後は自動的に停止すること。

なお、非常用の別系統スイッチを車体右側面前方シャッター内の適当な位置に取付けること。

(3) 真空形成作動は、破損防止のため、自動揚水時エンジン回転が一定回転以上では作動しない構造とし、回転が高い場合には自動的にエンジン回転を低下させたのち、適正回転まで上昇する構造とすること。

(4) 真空性能は吸管外端閉塞にて30秒以内に大気圧の84%とすること。

13 安全機能装置付ポンプ操作装置

ポンプ操作装置は、車体左右側面前方シャッター内に取付け、操作員が安全かつ容易にポンプ操作が行えるよう、次の機能を有するものとし、ひとつの操作盤ですべてが行えるものとする。

(1) 圧力計・連成計 (リタード式) は、ステッピングモーターを用いた電子式 (透過照明灯・ゲージ部作動確認ランプ付) とし、振動等でも針振れがない構造とすること。

(2) ポンプスロットルは、ダイヤル型電子式スロットルとし、左右どちらでも同方向に回転することによってエンジン回転速度を上げ下げできるものとする。

(3) ポンプスロットルは、誤作動を防止するため、スロットルを任意の位置で固定できる安全ロック機能を設けること。

(4) 多目的表示液晶ディスプレイを車体左右側面前方シャッター内に設け、詳細は以下のとおりとすること。

ア 液晶画面

7インチのワイド液晶とし、昼夜に関わらず認識しやすいよう自動調光機能機を装備し、高コントラスト比の低反射型硬質パネルとすること。

なお、寒冷地での使用も鑑み、液晶ディスプレイの使用温度範囲は -30°C ～ 60°C とすること。

イ モニター表示

警告モニターとして冷却水、真空形成装置作動タイム及び各種エラーに対する警告表示ができ、なおかつ警報ブザーが鳴るようにすること。

また、各ボールコックの開閉状況、揚水・放水の状況確認のできるモニター表示、ポンプ回転計・ポンプ圧力計・ポンプ連成計を各々デジタル数値によりモニター表示ができること。

ウ 流水表示

各ボールコックの開閉状況、ポンプの運転状況及び放水時における水の流れる状況を把握できる流水表示ができること。

エ 流量・積算表示

各吐水口からの状況が分かるようにデジタル数値により表示し、流量範囲によって表示色が変化すること。流量範囲とは筒先を一人持ちで放水できる範囲、二人持ちで放水できる範囲、二人持ちでも放水ができない範囲とする。

また、積算流量計もデジタル数値により表示ができること。

オ 反動力表示

隊員の安全確保のため、各吐水口の放水時使用ノズルでの反動力をニュートン単位で表示できること。パネルスイッチにて流量表示と反動力表示が切替られること。

反動力設定画面によりノズル径は $\phi 10\sim 65$ 、ホース本数は10本までの範囲で設定できること。

(5) 液晶ディスプレイ内の各種操作及び表示切換は、手袋装着時でも確実に操作が行えるようパネルスイッチとすること。

(6) ポンプ操作装置には、隊員の安全を確保するため、次の安全機能を設けること。

ア スロットル固定機能

不用意にスロットルに触れてもエンジン回転の上昇を防ぐためスロットル固定機能を設けること。

ただし、固定した場合でも安全方向（スロットルダウン）には操作できるものとする。

イ ホース耐圧警報機能

吐水配管の圧力がホースの耐圧を超えると警報音と共に液晶ディスプレイに警告を表示し、圧力がホース耐圧以下となるよう自動で回転を下げるものとする。

また、制御のON、OFF及びホースの耐圧設定は液晶ディスプレイで行えること。

ウ 低圧中継警報

中継水量が不足している時、ブザー音と共に液晶ディスプレイ内に低圧中継警告表示が点滅すること。

14 圧縮空気泡消火装置

(1) 仕様

ア 水ポンプ装置から送られてきた水を利用して、混合器で作られた混合液にコンプレッサーを用いて圧縮空気を送り込み、配管内部で泡状にして発泡できる装置で、少量の水で効率の良い消火ができるものとする。

また、発泡倍率が5倍から10倍の消火・火炎鎮圧用湿式泡（ウエット泡）と発泡倍率が16倍から20倍の延焼防止・残火処理用乾式泡（ドライ泡）の2種類の泡について、泡管そうを用いることなく吐出可能とすること。

イ 水ポンプ装置から高い圧力を受けても1.0MPaに減圧される構造とすること。

ウ 日本消防検定協会が定めた「圧縮空気泡消火装置の技術基準」に準拠する製品であり、(一財)日本消防設備安全センターの性能評定合格品とすること。

(2) 性能

最大水流量600L/min以上、最大空気吐出量3,200L/min以上とし、最大吐出量3,800L/min以上とすること。2線同時に放射しても十分な吐出量が得られること。

なお、泡の吐出量を確認するための泡流量計を液晶ディスプレイに設けること。

(3) 操作方法

ア 本装置の操作は液晶ディスプレイで可能なこととし、パネルスイッチ式にて操作ができること。

イ 湿式泡と乾式泡の切替え操作は、液晶ディスプレイにてワンタッチで行えること。
なお、切替え及び変更操作は放水中でも可能であること。

ウ 一定の問題が発生した場合は、液晶ディスプレイにエラー情報を表示すること。

(4) 安全機能

ア 泡原液の供給ができなくなった場合、スラッグフロー防止のため、自動的に水のみの放射に切替わる構造とすること。

イ 筒先要員安全確保のため、圧縮空気泡消火装置運転時に適正な回転数にスロットルを上げた後にスロットルを上げようとしても規定回転以上には回転が上がらないよう、スロットル過回転防止装置を設けること。

ウ コンプレッサーの油温が過熱すると警報を発すること。

(5) コンプレッサー

ア オイル循環式のロータリースクリュー型コンプレッサーとし、コンプレッサーの潤滑油は補助冷却器により冷却する構造とすること。

なお、補助冷却器は圧力水の一部の水により冷却されること。

イ メンテナンスを考慮し、国産製品とすること。

ウ スペース有効利用のため、真空形成装置兼用とすること。

- エ 油温上昇を警告するブザー等を取付けること。
- オ 冷却に使用した水は、水槽へ還流すること。
また切替えにより、車外にも排出できる構造とすること。

(6) 混合装置

圧縮空気流量を感知して、コンピューター演算により自動的に泡原液量を調整して、混合比を設定する電子式比例混合式とすること。混合比は液晶ディスプレイ内で表示、パネルスイッチにて設定ができること。

なお、混合比の変更は放水中でも可能なこと。

また、原液濃度の設定は、0.3から1.0%の8段階の設定可能な構造とし、左右の液晶ディスプレイ内で表示、パネルスイッチにて設定ができること。

(7) 消火薬剤(クラスA泡消火薬剤)

ア 泡原液(クラスA)は、環境に優しい環境保全型石鹼系消火剤とし、車体右側面前方シャッター内に交換容易なポリタンク(20リットル)式の原液容器を設置すること。

また、消火作業中の泡原液の補給を容易に行えるよう固定型の原液槽は設けないこと。

車体に専用補給電動ポンプを設け、容易に原液容器への補充が外部から行えるものとする。

イ 泡原液は、品質保証の観点から日本消防検定協会の型式を取得し、なおかつ型式適合検定に合格したものとする。

ウ 泡原液は、淡水または海水を使用した1%水溶液において、6倍以上の発泡倍率を有すること。

エ 泡原液の原料である界面活性剤は、化粧品原料規格2006適合品であること。

(8) 本装置での泡消火作業は、車体左右側面前方シャッター内の水ポンプ吐出口を使用し、コック操作により、容易に泡放射と水放水の切替えが可能な配管構造とすること。

なお、隊員の現場での操作性及び誤操作防止のためにも、消火泡吐出口をセパレートで設ける方式は不可とする。

(9) 圧縮空気泡消火装置(コンプレッサー、混合装置等)は、すべてポンプ室内に収納し、後面シャッターボックス等各ボックス内のスペースを減少させることなくホースや資機材を積載できること。(別途協議)

(10) 小型水槽

ア 容量は、600リットル以上とすること。(別途協議)

イ 水槽板面及び骨組を含めすべて一般構造用圧延鋼材(SS400)又はFRP製以上とすること。

ウ 積水口は、車体左右側面前方シャッター内に取付けること。(65mmオスキャップ付)

エ オーバーフロー用パイプを取付けること。

オ 水量計を車体左右側面に取付けること。

カ タンク吸水口は、電動コックを使用し、液晶ディスプレイ内で操作可能にすること。

15 吸水口

消防呼称75mmボールコック式(ストレーナ付)とし、車体左右側面前方シャッター内に各1個設け、車体右側面後方シャッター内は吸管手動巻取りとし、75mm×10mの

吸管を接続する構造とすること。(連続呼水装置付)

16 放水口

消防呼称6 5mm ボールコックとし、車体左右側面前方シャッター内に各2個取付けること。

また、すべての放水口にはマルチコネクター取付け、左右キャブ側の1口については、圧縮空気泡消火設備の吐出口と併用すること。

17 中継口

消防呼称6 5mm ボールコックとし、車体左右側面前方シャッター内に各1個取付けること。

18 安全装置

(1) 各吐水コックは、ノブを回すことによってロックできる構造とすること。

(2) P. T. Oがつながっていない場合は、すべてのスロットルダイヤルを操作してもエンジン回転操作ができない構造とすること。

(3) ダイヤル型電子式スロットルには、安全ロック機能を設け、誤操作によるエンジン回転上昇を抑える構造とすること。

ただし、ロックした状態であっても安全方向側(スロットルダウン)には操作できるものとする。

(4) 上限圧力設定機能を設け、あらかじめ設定したポンプ圧力を超えないようにエンジン回転速度を自動的に減速させる構造とすること。

(5) 流量計の流量の表示方法は、放水操作時の目安となるように流量の上昇によって表示色が変わること。

(6) 真空ポンプは、破損防止のため自動揚水の場合、エンジン回転が一定回転以上では作動しない構造とすること。

(7) 現場での万一のトラブルや訓練先での確認事項に冷静に対処することができるよう、機器説明、点検整備方法、フローチャート式の故障対策を液晶ディスプレイに表示できる構造とすること。

(8) 安全装置として、ワンタッチでエンジン回転をアイドルまで下げることのできるスイッチを設けること。

(9) 誤操作による事故防止のため、ポンプスロットルは左右とも右回転でスロットルアップする構造とすること。

19 不凍液注入装置

不凍液は、外部ホースを取付け注入する方式とすること。

20 塗装

(1) 車両は、朱赤色とし、塗料はVOC(揮発性有機溶剤)削減、環境負荷物質(鉛など)を一切含んでいない環境を考慮したハイソリッドウレタン塗料を使用すること。

- (2) 車両は、十分に錆落としの上、プライマー・パテ・サフェーサにより下地処理を行い、充分乾燥させ朱赤色ウレタン塗装により3回以上の塗装を行うこと。
- (3) シャッター（左右各2枚・後面1枚）は、朱赤色（車体と同色）とすること。
- (4) アルミ縞網板使用部は、無塗装とすること。
- (5) 車両下回りは、黒色塗装とし、防錆塗装をすること。

21 記入文字

- (1) キャブ左右側面後部ドアに丸ゴシック体・反射白文字・左読みで「燕・弥彦消防」と記入すること。
- (2) キャブ前面左側フロントガラス下部に丸ゴシック体・反射白文字で、「三王P」と記入すること。
- (3) 車体後面右側下部に丸ゴシック体・白文字で、「三王P」と記入すること。
- (4) 対空表示をキャブ上面に丸ゴシック体・黒文字で「三王P」と横文字で記入すること。
- (5) 標識灯は、丸ゴシック体・黒文字で「三王」と記入すること。
- (6) 車体後面シャッターに丸ゴシック体・白文字で「火の用心」と記入すること。
- (7) 車体左右側面（前・後）シャッターに事務組合が指定する文字・デザインを記入すること。
- (8) 各計器類・資機材等には、ネームプレートの取付け又は書込みをすること。
- (9) バルブ・コック類には、名称及び開閉方向を表示すること。
- (10) 各箇所における記入文字の大きさ・シャッター内のデザインについては、別途協議とする。
- (11) 水槽付消防ポンプ自動車（名称：三王タンク1号車）「新潟800は367」の記入文字変更及びデザインマークの変更をすること。
また、各箇所における記入文字の大きさ・シャッター内のデザインについては、別途協議とする。
- (12) 車両寸法表示を下図のとおり作成すること。

車両名称	三王ポンプ1	縦70mm×横100mm程度 プラスチック板に掘り込み文字 (検査受検後に作成すること。)
登録番号	
全高	000 m	
全幅	000 m	
全長	000 m	
定員	000 名	
車重	000 kg	
対空標示	三王P	

22 その他

仕様の更新等により変更が生じた場合は、別途協議すること。

第4 旧車両に関する事項及び廃車手続き

平成13年10月登録の水槽付消防ポンプ自動車(名称：三王タンク1号車)「新潟800は367」は、弥彦タンク1号車として配置換えとする。また、緊急自動車届出確認証の記載事項を変更する必要があることから、車検証の使用者の住所及び本拠の位置を変更したのち、燕警察署管轄から西蒲警察署管轄に移動する際の手続き又は、必要経費は受注者が負担すること。

平成8年3月登録の水槽付消防ポンプ自動車(名称：弥彦タンク1号車)「新潟88や2764」は、一時抹消登録とし、車両に貼付してある名称等をすべて剥がしたのち、赤色灯及びサイレン等を取り外して事務組合に納入すること。また、登録にかかる書類を事務組合に提出すること。

第5 補則

1 納入納期

- (1) 北陸信越運輸局新潟陸運支局長の新規登録を受けた後、緊急自動車届出確認書を添えて各部の点検整備を実施のうえ、燃料を満タンにし納入すること。
- (2) 納入場所は、燕市吉田浜首408番地1 燕・弥彦総合事務組合消防本部とする。
- (3) 納期は令和3年12月24日とする。

2 検査

「消防車両の安全基準について」において示されている「第三者機関による認証」は、日本消防検定協会による安全基準への適合の検証を行うこと。

ただし、消防ポンプ自動車にかかる受託個別試験手数料は受注者が負担すること。

3 保守

納車後10年間の保守点検、整備等にかかる経費一覧表を提出すること。

4 その他

その他の経費が発生した場合は、受注者側が負担するものとする。

なお、その他の経費について疑義が生じた場合は、事務組合に速やかに連絡し承認又は指示を受けること。

別表

取付品・附属品

(1) シャシ取付品・附属品

No.	品名	内容	数量
1	シャシ	150馬力 4WD Wキャブ MT エアコン、パワーウィンドウ、パワーステアリング、VSC (車両安定制御装置)、EBS (電子制動力分配制御) 機能付ABS (アンチロックブレーキシステム)、TRC (トラクションコントロール)、FUP (フロントアンダーランププロテクター)、オルタネーター80A、キーレスエントリー (3個)、ポスト新長期対応車	1式
2	自動車工具	工具セット SK3481S KTC	1式
		点検ハンマー UDHT-2 KTC	1個
		トルクレンチ CMPB8008 KTC	1個
		コンビソケット ABP8ZL - 4121TP KTC	1個
3	フロアマット	純正品 キャブ前後席	1式
4	フロントバンパー	アルミ縞板張	1式
5	フロントグリル	メッキ仕様	1式
6	アルミプロテクター	フロント・リアドア左右開口部	1式
7	アルミプロテクター	左右リアホイールアーチ部	1式
8	フォグランプ	左右一式	1式
9	アウトサイドミラー	運転席・助手席電動格納式 熱線リモコン 2面鏡式ミラー (各1)	1式
10	車輪止	合成ゴム製	2個
11	三角表示板		1個
12	発煙筒	車両標準装備品	1個
13	非常信号灯	点滅機能・マグネット付 単II電池付	1本
14	赤旗	柄は木製 旗の大きさ約 38cm×40cm	1本
15	ブースターケーブル	大型車用	1組
16	牽引用ワイヤー	長さ 5m	1本
17	スタッドレスタイヤ	ブリヂストン 205/85R 16 ホイール付 (スタッドレスタイヤを装着し納車すること) ※ラジアルタイヤ (ホイール付) も納品すること	7本
18	タイヤチェーン	ケーブルチェーン 収納ケース付	1式

19	バッテリー	130G41R	2個
20	坂道発進補助装置		1式
21	後退警報器	音声式	1式
22	後退警報器切替スイッチ	ON/OFF スイッチ	1式
23	サイドバイザー	純正品 4面	1式
24	補助サイドミラー	助手席側	1個
25	ナンバーフレーム	ステンレス製	1組
26	泥除けゴム	全輪	4枚
27	スノーブレード		1式

(2) 取付品及び取付装置

No.	品名	内容	数量
1	標準艀装	キャブス付CD-I型 ハイルーフ仕様	1式
2	赤色警光灯	キャブルーフ赤色警光灯 (LED) 一体型 ハイルーフ式 (スピーカー内蔵)	1式
3	赤色点滅灯 (フロント前照灯上部左右対称の位置)	WIONBR24 ウィレン製	2個
4	赤色点滅灯 (フロントバンパー左右側面对称の位置)	VTXFCR (24V) ウィレン製	2個
5	赤色点滅灯 (車体上部立ち上げパネル左右側面对称の位置)	M7FCR24 (24V) (リレーULF28DOT 付) ウィレン製	4個
6	赤色点滅灯 (車体後面上部左右対称の位置)	M7FCR24 (24V) (リレーULF28DOT 付) ウィレン製	2個
7	標識灯 (キャブルーフ左右側面对称の位置)	ハイルーフ内蔵 黄色	2個
8	作業灯 (キャブルーフ左右側面標識灯上部)		2個
9	作業灯 (車体上部立ち上げパネル左右側面对称の位置)	PELCC24 (24V) ウィレン製	4個
10	作業灯 (車体後面上部左右対称の位置)	PELCC24 (24V) ウィレン製	2個
11	照明装置	サーチライト PCP34P-DP (24V) 225W 手動伸縮柱付 ウィレン製	1式
12	電子サイレンアンプ	TSK-D152 大阪サイレン製 音声合成装置付 専用マイク付 フレキシブルマイク付 UD-200 助手席側上部	1式
13	電動モーターサイレン	ハイルーフ内蔵型	1個

14	十連スイッチ	SBW-D1 リレーボックス付	1式
15	消防章	樹脂製 150mm	1個
16	ボックス灯・エンジン点検灯	LED灯 (必要に応じて増設すること)	18個
17	路肩灯 (メインスイッチ付)	左右 バス型 (LED式) 保護枠付	2個
18	室内灯	天井埋込型 LED灯	2個
19	マップランプ	助手席1個・後部座席3個 CL-OS1D24(24V) ウィレン製	4個
20	P. T. Oスイッチ	車体左右のポンプ操作装置付近	1個
21	ポンプ圧力計	100mm 丸型 透過光照明灯付	2個
22	ポンプ連成計 (リタード式)	100mm 丸型 透過光照明灯付	2個
23	エンジン回転計	シャシ固有のもの	1個
24	エンジン油温計	シャシ固有のもの	1個
25	流量計	デジタル式	2個
26	積算流量計	デジタル式	2個
27	アワーメーター	コンプレッサー用	1個
28	オイルパンヒーター	1.5m専用コード付	1式
29	ポンプアンダーカバー		1式
30	不凍液注入装置		1式
31	地図収納ボックス	標準型 後部座席握り棒中央部	1式
32	面体掛用フック (後部座席用)	ステンレス製 後部座席背面	3個
33	バッテリー引出し装置		1式
34	助手席空気呼吸器取付装置	後部座席後方	1式
35	牽引用フック	キャブ前部	1式
36	キャブチルト梯子連動装置	梯子昇降装置連動型	1式
37	シャッター警告装置	シャッター「開」キャビン内警告表示機能	1式
38	圧縮空気泡消火装置	キャブ装置 国産品	1式
39	三連梯子昇降装置	手動式	1式
40	ホースカー昇降装置	電動昇降装置	1式
41	空気呼吸器取付装置	クイックホルダー BAB200	3基
42	昇降用梯子	アルミ製展開式 車体後面右側	1式
43	外部文字記入	キャブ左右側面後部ドア、キャブ前面左側 フロントガラス下部、車体後面右側下部、 キャブ上面、車体左右側面 (前・後) シャ ッター及び車体後面シャッター 既存車両 記入文字変更及びデザインマー ク変更	1式
44	ドライブレコーダー	タッチパネル式	1式
45	携帯拡声器	TR-215SA ユニペックス製	1個

46	無線電話装置（車載）	本体支給品移設、アンテナ・車外通話装置新設	2式
47	AVM装置	本体支給品移設、制御ケーブル新設	2式
48	アルミシャッター	車体左右側面各2枚、後面1枚	1式
49	バックアイカメラ	8インチ前後のモニター付（キャブ内）	1式
50	小物入れ用収納	キャブ内（運転席と助手席の間）	1式
51	ステンレス製手摺（S字環フック付）	空気呼吸器固定装置上部収納棚下部	1式
52	大型デジタル時計	キャブ内	1式
53	リアヒーター		1式

（3）附属品

No.	品名	内容	数量
1	吸管	LF-RS 75mm×10m（ACエキスパン金具） エルボ付	1本
		LF-RS 75mm×2.5m（ACエキスパン金具）	4本
2	吸管ストレーナ	プラスチック製	2個
3	吸管ちりよけ籠	ポリ製	2個
4	吸口ストレーナ	プラスチック製	2個
5	中継口用ストレーナ		2個
6	吸管枕木	ゴム製	2個
7	吸管ロープ	φ10mm×15m	2本
8	消火栓金具	呼称75メスネジ×呼称65差込メス（AC）	2個
9	中継用媒介金具	呼称65メスネジ×呼称65差込メス（AC）	2個
		呼称65差込オス×呼称65差込オス（AC）	1個
10	放口媒介金具	呼称65メスネジ×呼称65差込オス（AC）	4個
11	差込式異径媒介金具	呼称50差込メス×呼称40差込オス（AC）	2個
		呼称65差込メス×呼称40差込オス（AC）	2個
		呼称65差込メス×呼称50差込オス（AC）	2個
12	消火栓開閉金具	地上式	1本
		地下式 T字型 長さ1,100mm	1本
		地下式 日之出式	1本
13	吸管スパナ		2本
14	管そう	無反動ノズル NMリニアノズルZ 50mm	2本
15	ノズル	噴霧ノズル ダブコンマークIIノズル	2個
		ガンタイプノズル TS-0501-S NM-V-S 50mm	1個
16	キャフス用ノズル	キャフス用無反動管そう エコファイター 50mm	2本
17	ノズル立て		2個
18	とび口	1,800mm グラスファイバー製	2本

19	金テコ	1, 200mm	1 本
20	スコップ	剣先	1 本
21	おの	柄 グラスファイバー製	1 本
22	掛矢		1 本
23	ホース延長用資機材	加納式ホースカー プレーキ付、 カバーシート付	1 台
24	三連はしご (チタン製)	MTTL-387 (全長 8.73m) 横さん補強型	1 脚
25	消火器	ABC 粉末 20 型 (自動車用)	1 本
26	ポンプ工具		1 式
27	消防ホース	50mm×20m 1.6Mpa SP-Aya-A	20 本
		65mm×20m 1.6MPa SP-Aya-A	40 本
28	分岐管	マルチコネクト分岐ボールバルブ WB-65MC	2 個
29	ホースブリッジ	スーパー L 2 個 1 組	1 組
30	ホースバンテージ	HB-100	10 枚
31	ホース結束ベルト	BE-007	20 本
32	スタンドパイプ	双口引上式バルブ付 PS-65DV 800mm	1 本
33	低水位ストレーナー	流線型 RYU-SEN-KEI	1 個
34	照明器具	マキタ充電式 LED スタンドライト一式、ス タンドライト ML805×2 個、バッテリー BL1850×4 個、充電器 DC18RC、ライトスタ ンド A-5812 発電機 EU9i インバータ式 900VA コードリール BF-301K	1 式
35	空気呼吸器	NM30 (CS 面体首掛け紐付) 収納袋付 面体保護シール、コーナーテープ付	4 式
		FRP カーボンボンベ 6.8ℓ 29.4MPa 保護カバー付	4 本
36	予備ボンベ	FRP カーボンボンベ 6.8ℓ 29.4MPa 保護カバー付	4 本
37	携帯警報機	スーパーパス II	4 個
38	エンジンカッター	K770Rescue 12 ｲﾝﾁ ﾏｽｸﾊﾞｰﾅ	1 式
		ダイヤモンドブレード EZ-300 ハスクバーナ	2 枚
		レジノイドブレード金属用 ハスクバーナ	10 枚
		レジノイドブレード非金属用 ハスクバーナ	5 枚

		燃料携行缶 50缶	1個
39	センサー	ファイブレスキューセンサー 576-HD ハスクバーナ	1式
		シャープナーキッド	1個
		キャリーバック	1個
		燃料携行缶 50缶	1個
40	山林火災用水のう	ジェットシューターS	5個
41	赤外線サーモグラフィ装置	熱画像 FLIR K2	1台
42	アルミボックス	アルミ縞板製(別途協議) 車体上部右側	1式
43	携帯ガラス破壊器具	ウインドポンチ ホルマトロ製	1個

- ※1 消防用ホース（結合金具を除く）の規格は、消防用ホースの技術上の規格を定める省令（昭和43年 自治省令第27号）によること。
- 2 消防用ホース、吸管、ノズル等の結合金具の規格は、消防用ホースに使用する差込式の結合金具の技術上の規格を定める省令（平成4年自治省令第2号）及び消防用ホースまたは消防用吸管に使用するネジ式の結合金具の技術上の規格を定める省令（平成4年自治省令第3号）によること。
- 3 吸管（結合金具を除く）の規格は、消防用吸管的技術上の規格を定める省令（昭和61年自治省令第25号）によること。

(4) その他の積載品

No.	品名	内 容	数量
1	泡消火薬剤	マルチA 鑑定品 (石けん系環境保全型) 18リットル缶	8缶
2	訓練用泡消火薬剤	トレーニングフォーム	2缶
3	携帯投光器	ファイヤーバルカン 180F LED式 FM 認証モデル	3個
4	LED合図灯	LED点滅・点灯式 手元灯付 単II電池付	4本
5	立入禁止テープ	消防用 100m 巻	10巻
6	ホースキャリーバック	ホースバックII W50-65	4個
7	ラジオハーネス	アラミドラジオハーネス RD3 燕・弥彦消防仕様	5個
8	マーキング用器具	マーキングセット USAR-MK	2個
9	デジタルカメラ	オリンパス TG-6 工一郎 (又はその後継機種) 色:ブラック	1式
		SDHC カード 32GB CLASS10	1枚
		予備バッテリー LI-92B	1個
		シリコンジャケット CSCH-127	1個

		スポーツフォルダー CSCH-123 オレンジ	1個
10	セーフティーコーン	蛇腹折りたたみ式 反射材付 フラットセーフティーコーン FSC-ABS55	4個
11	トランシーバー	携帯型デジタルトランシーバー SR730	3個
		キャリングケース	3個
		金属クリップ	3個
		タイピン&イヤホン EK505	3個
		登録料、電波使用料	3式
12	金属探知機	F-94M	1個
13	無線局免許変更分	2台分	2台